

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準よりも多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			多目的トイレ、エレベーター、スロープを設置。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			月1度ずつの常勤スタッフ会議とパートを入れたスタッフ会議で数カ月の行事計画を立案し、反省して次の取り組みに活かしている。毎日の取り組み後の学生アルバイトスタッフを入れた振り返り会で反省したり、伝達して全体で共有できるように努力している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			最近の2017年5月に実施したものをもとに議論し、業務改善につなげる努力をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			今回初めて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			“第三者委員会”として「大阪障害者センター ネットワークほぼろ」に加入しているが、まだ評価は受けたことがない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			月1回の事例検討会、大学教員を招いての年数回の研修をおこなっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			初回面談の際に、アセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		・アセスメント様式については、事業所で改善して「子どもの好きなこと」などを入れるなどオリジナルなものを活用している。契約が継続される場合には、親子のねがいや困っていること、気になることなどを記入していただく欄を追加する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			担当者が計画した案を、職員間で共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		<input type="radio"/>		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		長期休暇等には、外出などを企画している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			職員間で、一人ひとりの課題を確認し合って作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			必ず、打ち合わせと振り返り(1時間)の時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	記録の時間を設定し、丁寧に振り返りを行っているが、次回の支援への改善につながりにくい場合もある。
----	--	--	---	--

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		基本的には半年に1回、おこなっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		個別支援計画を提供してもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修を時々受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の公園等での交流はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		お迎え時や、懇談の際に伝え合う時間を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		子育て支援教室を開催し、学習や交流の場を提供している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年数回、バザーや交流会を開催している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2か月に1回「ぼぼろたより」を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			プリント配布や電話連絡等おこなっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			バザーや、フリーマーケットを開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防犯マニュアルをつくる。 防災マニュアル以外は保護者には周知していないので改善する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		月に1度計画をしているが、実施ができない場合があった。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年度途中でスタッフの入れ替わりがあるので、徹底できるように改善する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			職員間で話し合いを行い、保護者の同意のもと、身体拘束同意書にサインを頂いている。(個別の支援計画に記載)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書の提出については、法人本部や保護者とも相談して検討する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			年度末に作成し、打ち合わせの際には職員間で必ず確認を行っている。